

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和6年度第1回四條畷市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和6年10月29日(火) 14時00分～14時45分
場所	市役所東別館第二付属棟1階大会議室
議題	(1) 令和6年度上半期地域包括支援センター活動報告について (2) その他
会議の公開・非公開	公開
出席者	小寺会長、藤関副会長、高橋委員、藤谷委員、湯元委員、網城委員、田中委員、青山委員、出来田委員
欠席者	埴委員
事務局出席者	健康福祉部高齢福祉課課長 西端、高齢福祉課課長代理 小川、主任 倉本、中友
会議資料	令和6年度第1回四條畷市地域包括支援センター運営協議会 会議次第 資料1 四條畷市地域包括支援センター運営協議会委員名簿 資料2 四條畷市地域包括支援センター別統計 資料3 主な相談内容と対応の内容(実人数) 資料4 令和6年度地域包括支援センター活動計画・活動報告一覧 資料4参考資料 地域包括支援センター活動計画書・活動報告書 ① にし地域包括支援センター ② なわて地域包括支援センター ③ たわら地域包括支援センター 参考資料 令和6年度四條畷市地域包括支援センター活動方針
傍聴人	0人
その他(備考)	案件1の活動報告の説明のため地域包括支援センター受託法人の代表者を招集
発言者	
事務局	【案件1】 ○令和6年度上半期地域包括支援センター活動について 資料2 四條畷市地域包括支援センター別統計

	<p>資料3 主な相談内容と対応の内容（実人数）</p> <p>資料4 令和6年度地域包括支援センター活動計画・活動報告一覧</p> <p>資料2～4について事務局から説明</p>
会長	資料の2～4の説明がありました。これに関して委員から質問はございませんでしょうか。
副会長	認知症サポーター養成講座とはどのようなものですか？
事務局	認知症の知識普及を目的に実施している講座です。認知症の人が地域で安心して暮らせるように、周囲の人が認知症について理解をもって対応できるように、基礎知識を身につけることができる講座となっております。
副会長	サポーターは一般市民ですか？
事務局	参加いただく方は一般市民が多いです。講師はキャラバンメイトです。キャラバンメイトはその養成研修を受けた人であり、包括職員だけでなく介護保険事業所の方にも多く協力をいただいています。
会長	それに関連して、研修を受けられた一般市民の組織化は？
事務局	組織化もめざしています。チームオレンジ、市民の方たちで家族や本人が困ったときにサポートできるような活動に繋げるために、話し合いを継続しています。実践には至っていませんが、組織化につなげられるよう考えているところです。
会長	よろしくをお願いします。
委員 A	チームオレンジの母体は医療ですか？認知症ケアワーキングですか？
事務局	認知症ケアワーキンググループは専門職として構成していません。市民の方が入っていません。チームオレンジは一般市民も含めたグループです。認知症の施策としては連動しています。
委員 A	以前病院に貼るチラシを持ってこられた方が、チームオレンジの話をしていたことから、チームの組織構図が気になりました。
事務局	これからは市民を巻き込んだ展開を考えていきたいです。また、当事者を巻き込んだ取組みも課題、国レベルでの課題です。市民や認知症ケアワーキング委員など多くの人のご意見を聞きながら展開を考えていきたいです。

会長	65歳問題といわれている、総合支援法から介護保険サービスへ移行する時の壁。その壁がクリアにできていないところが多いです。四條畷市はどうなっていますか？65歳になったらスムーズに移行できていますか？まだまだ全国的にも、すっきり解決できていないのが現状だと思いますが四條畷市は何かされていますか。
事務局	65歳を迎えられる障がいのある方の制度移行という認識で間違いないでしょうか。障がいの協議会が主となり、65歳の移行がスムーズにいくように、プロジェクトチームが立ち上がりました。そこでは介護支援専門員連絡会や、地域包括支援センターが入り、先日専門職向けのマニュアルを作成したところです。一般市民の方には専門用語が多いため、今後普及啓発に努めていこうと考えています。
会長	地域ケア会議の場で、そのあたりの問題、事例検討含めてやっていった方が連携がとれるかな。事例を重ねながらノウハウも身につくでしょう。重層的な支援体制の構築も言われています。18歳の壁（児童福祉法から）や65歳の壁。地域ケア会議は障がい等も含め、いろんな職種の人が集まる良い機会です。そのような場を活用しながら壁をなくすための取り組みをお願いします。
委員 B	研修会、法定外研修会に関してです。四條畷市内に居宅介護支援事業所が20件ほどあります。皆さんほとんどが主任ケアマネジャーになってきています。5年ごとに更新が必要であり、その要件に法定外研修の受講があります。包括が法定外研修を年に何回か担うとなっていますが、包括に主任ケアマネジャーが不在となっている期間が長くなっています。包括の主任ケアマネジャーは居宅のケアマネジャーの相談役でもありますが担っていません。このことから委託している以上、市も改善への声掛け、雇用の努力を行い、不在期間ができるだけ長くないように指導していただきたいです。
事務局	受託法人への働きかけを強めていきたいと思っています。
会長	働き手不足。人材不足が叫ばれていますが、四條畷市は3職種の中で採用が難しい職種はありますか？
事務局	主任ケアマネジャーが不足している状況です。
会長	主任ケアマネジャー不足はどことも苦労しています。市も解決に向けて努力をお願いします。  ほか、ないようですので本件はこれにつきまして終わらせていただきます。続きまして、案件2の「その他」について事務局

事務局	<p>から説明をお願いします。</p> <p>連絡事項として、令和6年度第2回の運営協議会は、来年の2月28日金曜日、午後2時から、案件は、令和7年度の活動方針及び活動計画について 実施したいと考えております。</p> <p>日程につきましては、事業の進捗状況により万が一変更になる場合は改めてお知らせさせていただきます。</p> <p>以上、誠に簡単ではございますが、案件2の説明とさせていただきます。</p>
会長	<p>ただいま事務局からご説明を受けましたが、委員の方からご質問はございませんでしょうか。次回2月28日ですね。</p> <p>ほかにご質問はございませんか。</p>
委員C	<p>にし圏域で、上半期だけで4件ほど通いの場ができています。</p> <p>ボランティアの養成にも力を入れています。箱なのか、人が育ったからそれが叶っているのか。全圏域に増やしていく必要があります、これは成功事例だと考えているので教えていただきたいです。</p>
にし地域包括支援センター（管理者 嶋田）	<p>新たに担当する圏域が岡山地域に広がったなかで、交野支援学校の駐輪場を借りて、校長先生などの許可をいただいてラジオ体操を開くことになりました。忍ヶ丘の駅前でシニア筋トレ教室を、ボランティアさんが中心になって10月から始めています。それができたのは、生活支援コーディネーターがボランティアのコーディネーターをしており、もともと四條畷市のデイサービスや特養のボランティアさんを取りまとめていた経験を地域につなげました。ボランティアさんが傾聴支援訪問活動の取組みを始めました。市民も誰かのためになることをしたい。住民が優しい特性を持つ地域でもあり、その思いを導くことができた、それが成功の要因だと思っています。今後も継続できるようにしたり発展させていきたいです。</p>
会長	<p>ほか、ないようですので、以上で本日の議案がすべて終了しました。これをもちまして「令和6年度第1回 四條畷市地域包括支援センター運営協議会」を終了させていただきます。</p> <p>委員の皆様、議事の進行にご協力いただきありがとうございました。</p>